

前期

文系

平成 29 年度入学試験学力検査問題

地理歴史・数学 (人文・社会系, 経営学系 A 区分—90 分)

答案用紙

- ・日本史 3 枚
- ・世界史 2 枚
- ・地理 3 枚
- ・数学 2 枚

注 意

1. 監督員の合図があるまで, 問題の内容を見てはいけません。
2. 数学は, 筆記用具のほか定規, コンパスの使用を認めます。  
ただし, 分度器の使用は認めません。
3. 受験番号及び氏名は, 答案用紙の所定欄に必ず記入してください。

(例) 受験番号 1234567X の場合 →

			1	2	3
4	5	6	7	X	

4. 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用し, 必ず配付された答案用紙に記入してください。なお, 世界史, 数学は裏面にも解答欄があるので注意してください。  
答案用紙には, 解答に関係のないことを記入してはいけません。
5. 字数指定の設問で解答欄にマス目が用意されている場合, アルファベット及び数字は, 1 マスに 2 字記入しても構いません。
6. 問題は次に示したページにあります。
  - ・日本史 1 ページ~10 ページ
  - ・世界史 11 ページ~18 ページ
  - ・地理 19 ページ~30 ページ
  - ・数学 31 ページ~32 ページ
7. 試験中に不鮮明な印刷等に気付いた時は, 手をあげて監督員に申し出てください。
8. 答案用紙を切り取ったり, 持ち帰ったりしてはいけません。
9. 問題冊子の余白は利用可能ですが, どのページも切り離してはいけません。
10. 問題冊子は, 持ち帰ってください。また, 試験終了時刻まで退室できません。

# 地 理

1 日本の産業発展に関する以下の問い(問1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 工業の立地には、原料や製品の輸送費が関係する場合がある。次の図1は、世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」を構成する資産が存在する地点を示したものである。この世界遺産のうち、八幡に製鉄所が立地した理由について述べなさい。

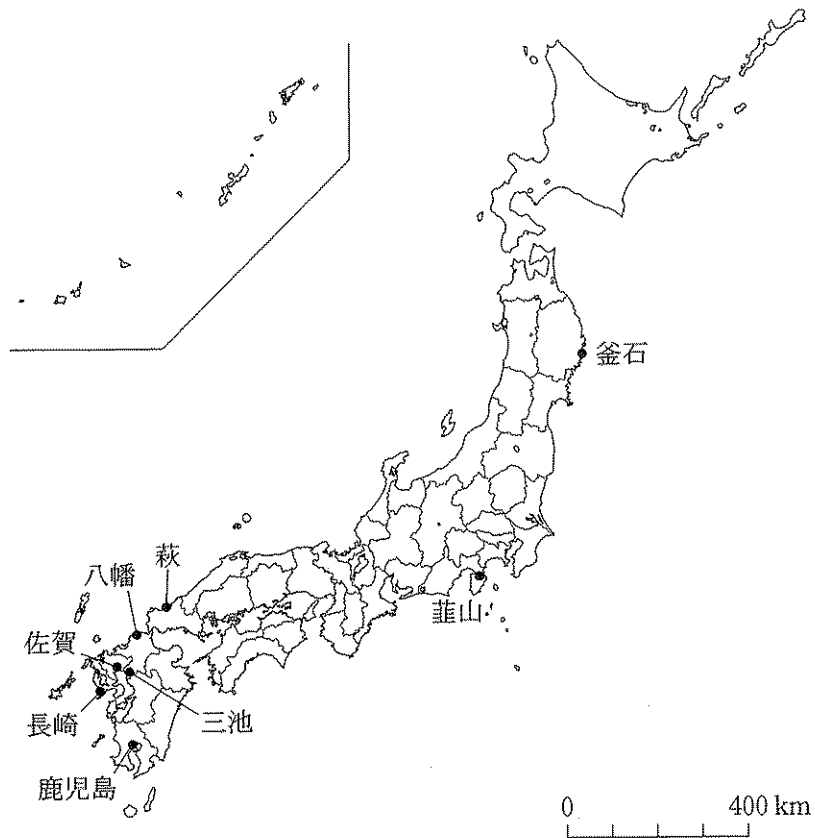


図1

産業遺産国民会議「明治日本の産業革命遺産」により作成。

問 2 次の図 2 は、イタイイタイ病の原因物質であるカドミウムを排出した鉱山と、イタイイタイ病患者の居住地の分布を示したものである。イタイイタイ病患者が、平野部において河川の下流側ではなく上流側に集中した理由について述べなさい。

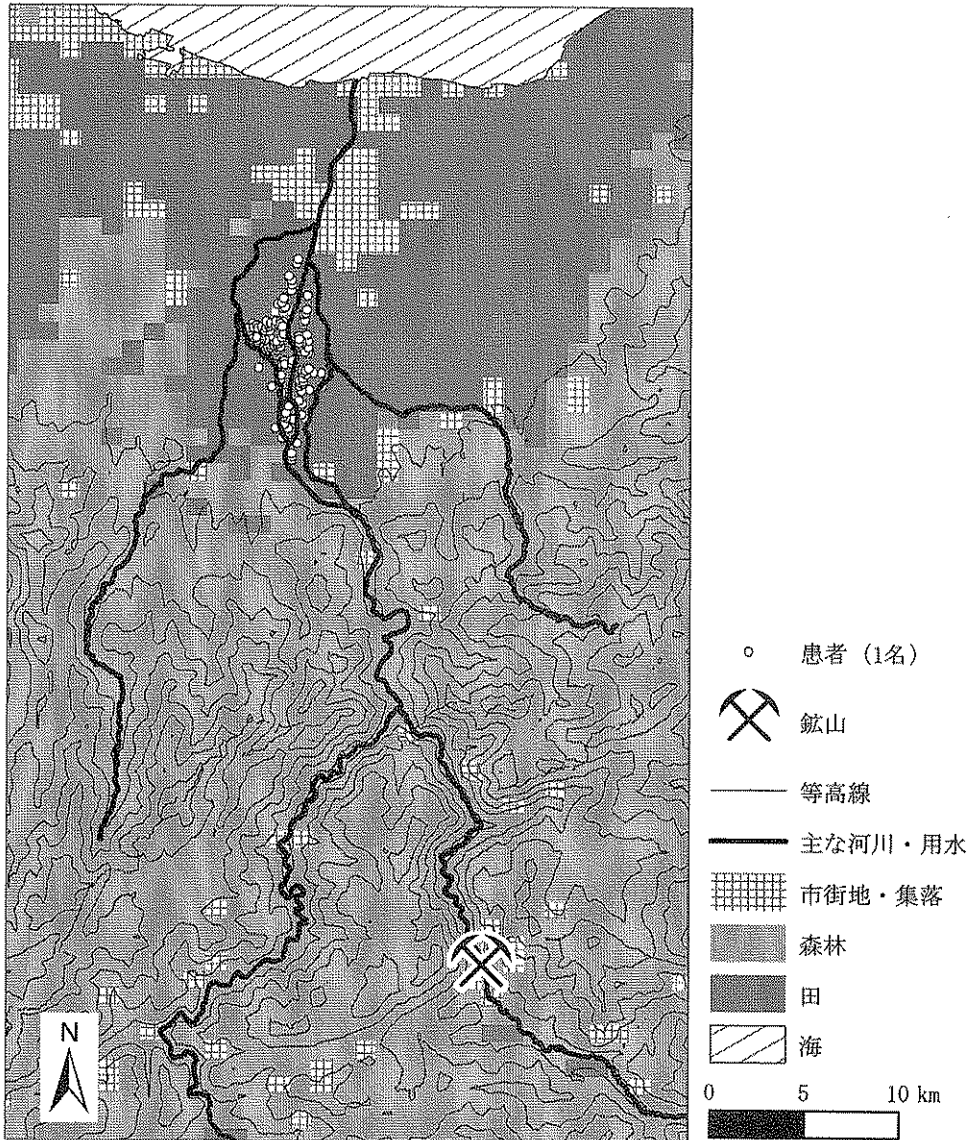


図 2

図中の土地利用は、1 km 四方の中で最大面積のものを示している。等高線は 200 m 間隔。

イタイイタイ病資料館の資料などにより作成。

問 3 次の図 3 は、日本の代表的な自動車メーカー A 社の国・地域別の生産台数を示したものであり、図 3 中のア～ウは、アジア\*、北米、ヨーロッパのいずれかである。ア～ウに該当する地域名を答え、そう考えた理由を述べなさい。

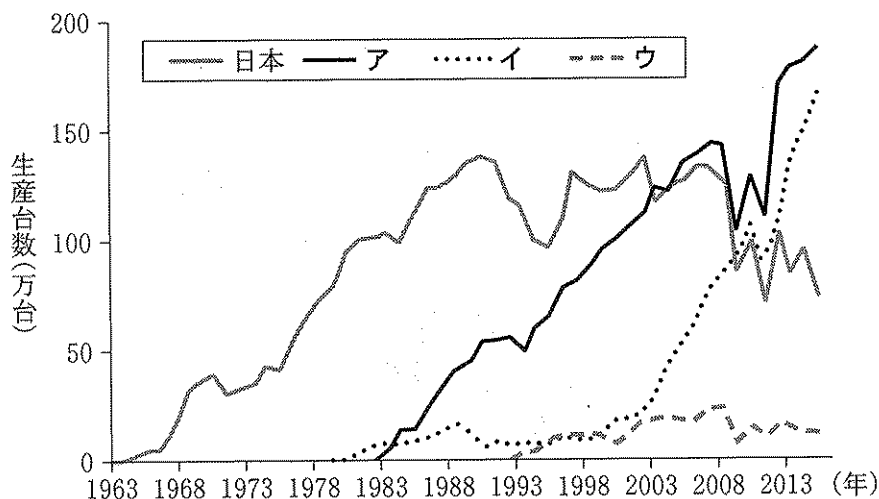


図 3

\*2002 年までの生産台数には南米と中東の台数を含む。

A 社の資料により作成。

問 4 次の表 1 は、いくつかの国・地域について 1 人当たり GDP(国内総生産)および第 2 次産業従業者率を示したものであり、カ～クは、ドイツ、日本、ホンコンのいずれかである。カ～クに該当する国・地域名を答えなさい。

表 1

	1 人当たり GDP (US ドル)		第 2 次産業従業者率 (%) 2010 年
	1995 年	2015 年	
カ	42,536	32,486	25.4
キ	31,709	40,997	28.5
ク	22,909	42,390	11.4

IMF の資料などにより作成。

問 5 次の図4は、オーストラリアとタイについて、日本を訪れる年間観光客数に占める月別観光客数の割合を示したものである。オーストラリアとタイから日本を訪れる月別の観光客数の変化について、それぞれの国の特徴と地理的な背景を説明しなさい。

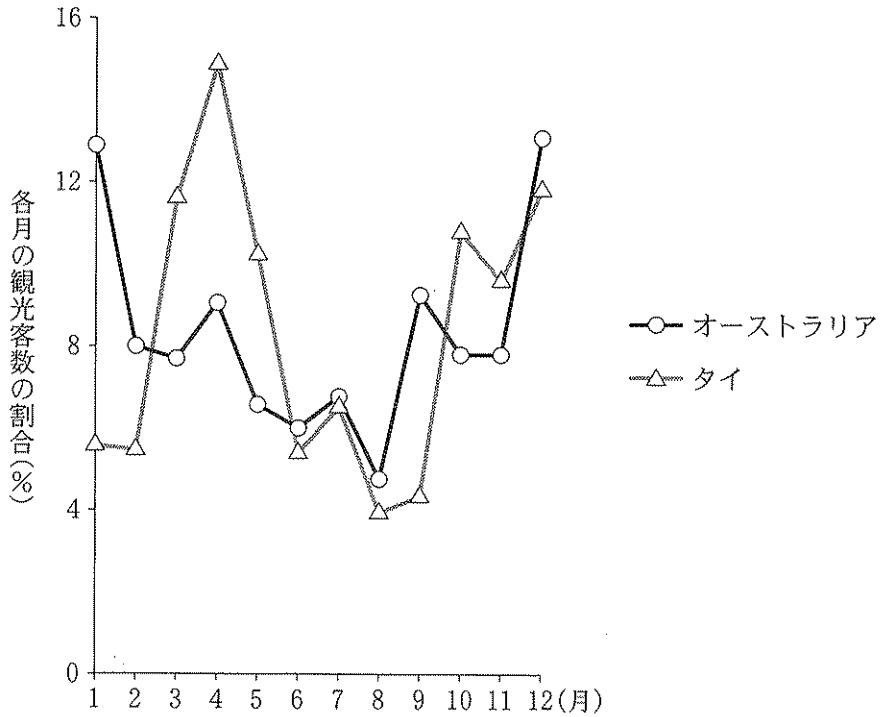


図4

日本政府観光局(JNTO)の資料により作成。

- 2 イギリス人ジェームズ・クック (James Cook) は、1768 年から 3 回にわたって帆船による太平洋の探検・調査を実施した。次の図 5 中の破線は、1776 年 7 月 12 日にイギリスを出発した第 3 回目における概略の航路を示している。図 5 を参照して、世界の気候に関する次ページからの問い(問 1 ~ 5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

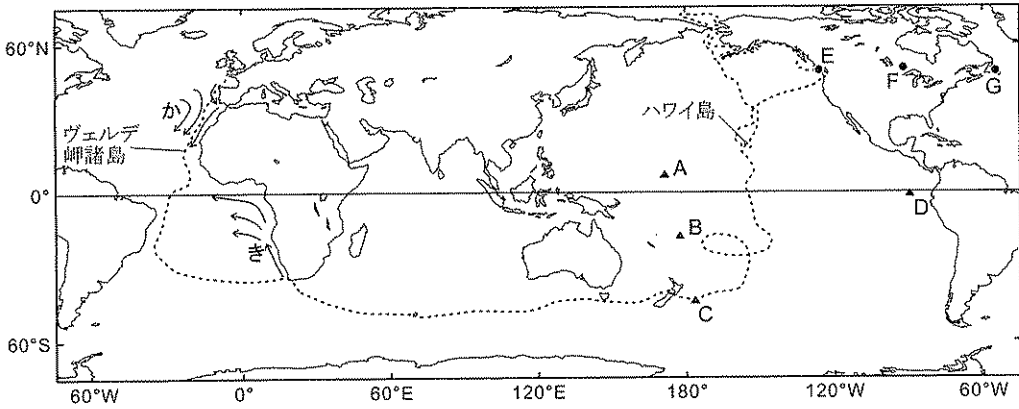


図 5

航路は増田義郎訳『クック太平洋探検(五)第三回航海(上)』による。一部改変。  
地図は正距円筒図法による。

問 1 次の文章は、図 5 中のヴェルデ岬諸島(1776 年 8 月 16 日)から 9 月 1 日に赤道を越える間におけるクックの航海記録の一部である。文章中の空欄  ,  に該当する用語を下の語群 a ~ g のうちから 1 つずつ選び、記号で答えなさい。

ヴェルデ岬諸島を出発した次の日、 がなくなり、北緯 2 度、西経 25 度に至るまで  はなかった。(略)北緯 12 度と 7 度の間では、天気は一般に暗く陰鬱であった。

(増田義郎訳『クック太平洋探検(五)第三回航海(上)』による。一部改変。)

語 群

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| a. 海 風     | b. 南西モンスーン | c. 南東貿易風   |
| d. 北西モンスーン | e. 北東貿易風   | f. 北東モンスーン |
| g. 陸 風     |            |            |

問 2 図 5 中に示した海流か、きの名称をそれぞれ答えなさい。

問 3 次の図 6 は、図 5 中の A～D のいずれかの島で見られる降水量の季節変化を示している。A～D のそれぞれに該当するものを図 6 中のア～エのうちから 1 つずつ選び、記号で答えなさい。また、そのように判断した理由を説明しなさい。

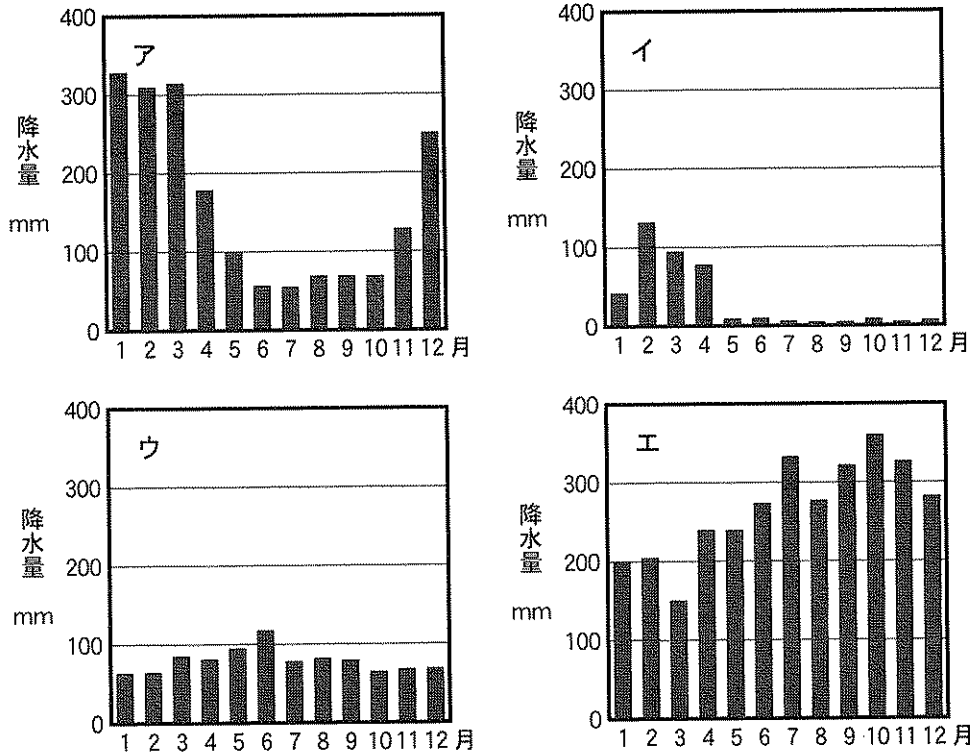


図 6

気象庁資料により作成。

統計期間：1981—2010 年



問 4 クックは 1778 年 3 月末から 1 か月近くヌートカ・サウンド(図 5 中の地点 E 付近)に滞在して、土地や住民に関する記録を残しており、その中で同緯度の北アメリカ大陸東岸との気候の違いにも言及している。次の図 7 中のカ〜クは、ほぼ同じ緯度に位置する図 5 中の地点 E~G のいずれかにおけるハイサーグラフを示している。地点 E, F, G の順にカ〜クをならべ、記号で○→○→○のように答えなさい。また、そのように判断した理由を説明しなさい。

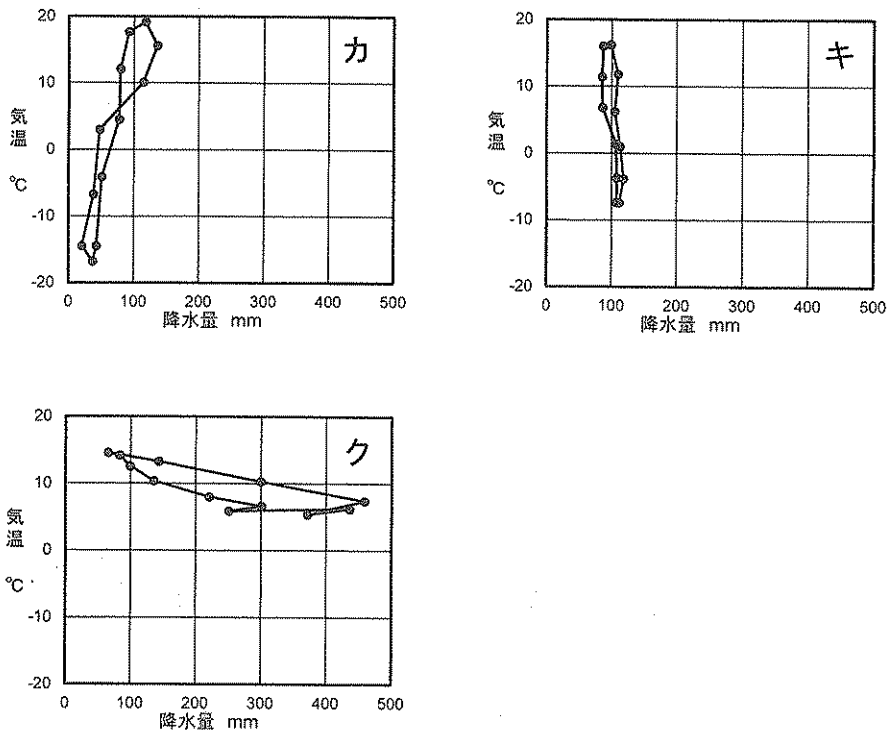


図 7

気象庁資料により作成。

統計期間：1981—2010 年

問 5 次の図8ならびに図9は、図5中に示したハワイ島の略図ならびに島内の地点K~Mのいずれかにおける雨温図をそれぞれ表している。図8中の地点K, L, Mの順に図9中のサ~スをならべ、記号で○→○→○のように答えなさい。また、そのように判断した理由を説明しなさい。

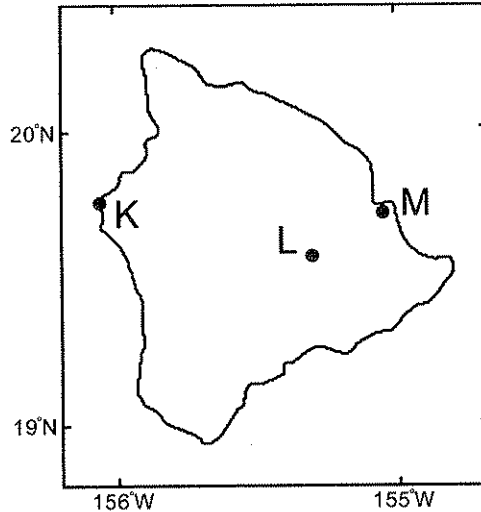


図8

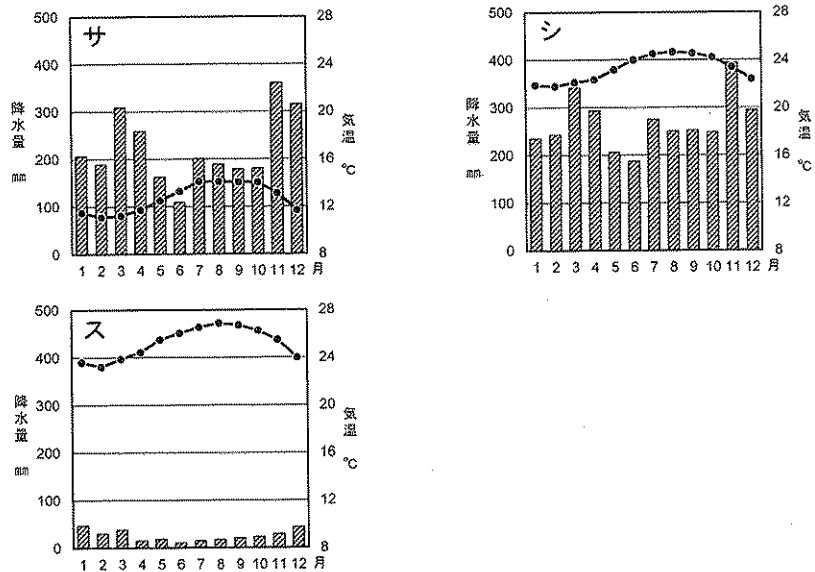


図9

アメリカ海洋大気局の資料により作成。

統計期間：1981—2010年

3 平成 21 年国土地理院発行の地形図(原寸大)を次ページの図 10 に示した。図 10 を見ながら以下の問い(問 1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問 1 松江駅から松江城までの道案内の以下の説明で、下線部①～⑦には正しい記述と間違った記述が混在している。間違っている記述の下線部の番号をすべて指摘し、正しい記述を解答欄に示しなさい。

大橋川の左岸に位置する松江駅の北口を出て、寺町と天神町を經由して、  
① 宍道湖大橋を渡る。宍道湖大橋からは左手に宍道湖、右手に湖にそそぐ大橋  
川が見える。宍道湖大橋を渡ると、③ 右手に神社があり、それを過ぎると、  
④ 県庁などの官庁や公共施設が多く立地する。しばらく歩くと城の堀沿いの道に  
なる。まっすぐそのまま歩くと城の下の広場になり、そこから石段を登ると  
⑤ 松江城に到着する。  
⑦

問 2 宍道湖大橋の三角点から松江城(城跡記号の位置)までの直線距離(km)と比高(m)を求めなさい。距離は整数で、比高は5の倍数で答えなさい。

問 3 松江城から松江市役所と美術館が見える。それぞれがどこにあるのかを、松江城や宍道湖などとの関係位置を用いて、解答欄に説明しなさい。

問 4 松江城近くの図書館で地域の歴史を調べ、地形図を用いて小泉八雲旧居を訪ねることにした。図書館から小泉八雲旧居までの道案内を、目印となるランドマークや景観・土地利用とともに解答欄に説明しなさい。

問 5 松江市は典型的な城下町として知られている。地形図から城下町の特徴を読み取り、解答欄に説明しなさい。

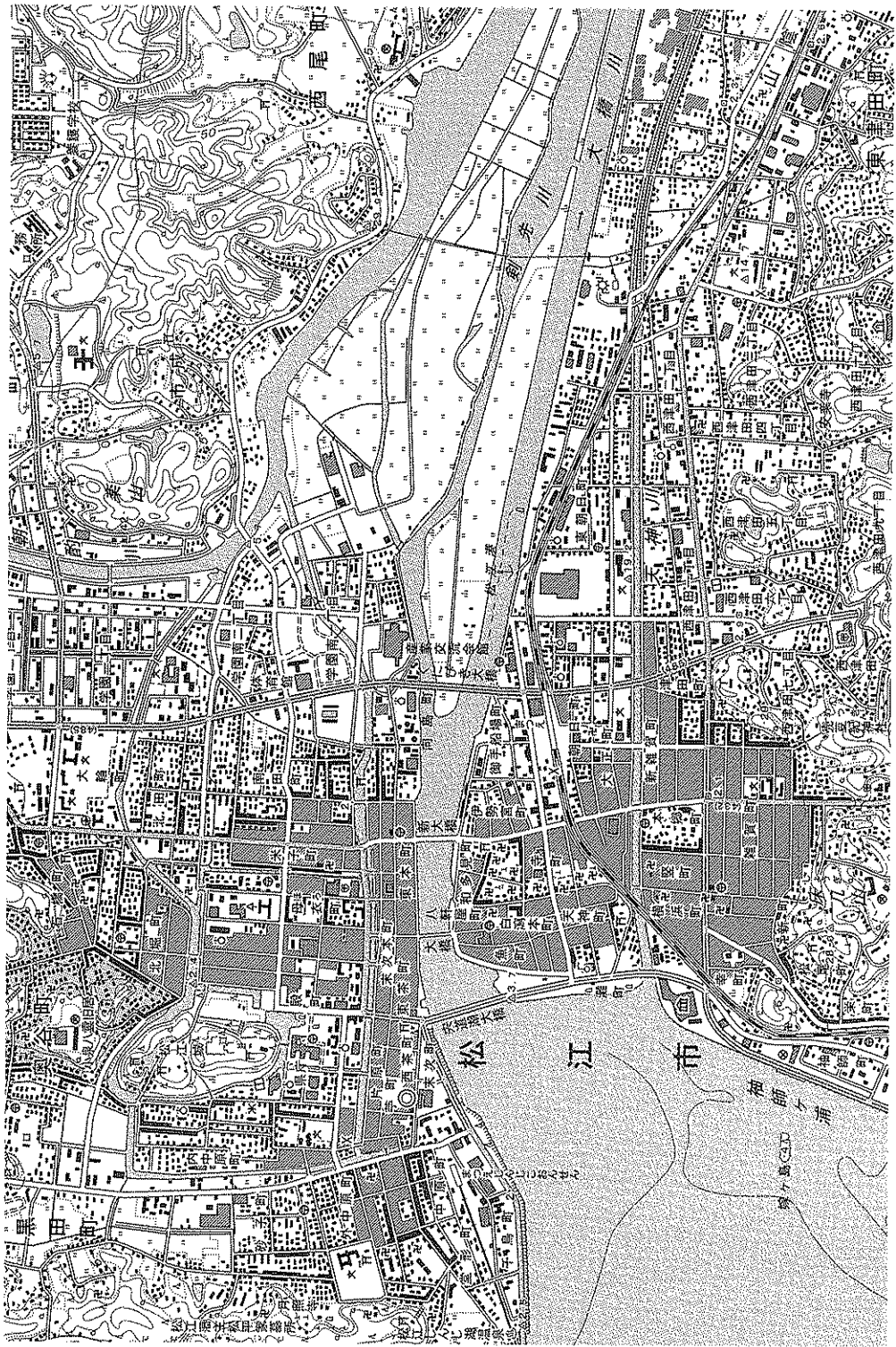


图10